

1 1. 学校関係者評価

専門学校 ちば愛犬動物フラワー学園 学校関係者評価報告書

審査日:平成30年3月13日

評価者:学校関係者評価委員会

評価結果

1. <教育理念・目標>			エビデンス (文書名又は文書番号)	優良	適合	要改
1	1	学校の理念や社会のニーズを反映する教育目的・育成人材像は明確に定められているか	学則・入学案内書	◎		
1	2	学校における職業教育の特色は明確になっているか	入学案内書・研修関連資料	◎		
1	3	学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想等が学生・保護者等に周知されているか	学則・入学案内書入学案内書・入学前保護者説明会・保護者セミナー		○	

コメント

教育理念・目標の各項目については、明確なエビデンスがあり、全項目適合以上の評価となった。1-3に関して、動物看護科においては2017年度入学生から保護者の為の説明会を2月中旬に行っており、十分な説明がされていると言える。全学科で導入できるかが今後の検討事項である。

2. <学校運営>			エビデンス (文書名又は文書番号)	優良	適合	要改
2	1	教育方針や教育目的等に沿った運営方針が策定されているか	重点方針		○	
2	2	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	財務関連資料・重点方針		○	
2	3	学校運営に関する(事業計画、予算編成、教育活動等)に対する評価を結論としてとりまとめた評価報告書を作成しているか	自己点検・評価報告書、情報公開	◎		
2	4	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化され、人事、給与に関する規定も含め、有効に機能しているか	就業規則・人事考課表		○	
2	5	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	自己点検・評価報告書・個人情報保護規定		○	
2	6	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	情報公開資料(HP掲載)		○	

コメント

学校運営の各項目については、明確なエビデンスがあり、全項目適合以上の評価となった。マネジメントレビュー(学校運営管理や事業計画の振り返り)に関するエビデンスがやや不足している感じもあるが、概ね適切な学校運営ができていると言える。

3. <教育活動>			エビデンス (文書名又は文書番号)	優良	適合	要改
3	1	教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	重点方針・カリキュラム表・WEBシラバス・教育課程編成委員会議事録	◎		
3	2	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえ、修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	カリキュラム表・WEBシラバス	◎		
3	3	教育理念・到達目標に沿って学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	カリキュラム表・WEBシラバス・カリキュラムツリー		○	
3	4	講義及び実習に関するシラバスは作成されているか	WEBシラバス	◎		
3	5	学生によるアンケート等で、適切に授業評価を実施しているか	授業改善アンケート	◎		

3	6	適切な評価体制を有し、授業評価が実施されているか	授業改善アンケート		○	
3	7	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	教育課程編成委員会 議事録		○	
3	8	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	ライフマニュアル・WEBシラバス・卒業進級審議会 議事録		○	
3	9	人材育成目標の達成に向け各授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	授業スケジュール(講師 毎)、研修関連資料		○	
3	10	動物看護職関連分野との連携による優れた教員(本務・兼務含む)を確保するための活動が行われているか	業界団体加盟リスト、教育 課程編成委員会議事録		○	
3	11	関連分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力育成等資質向上のための取組が行われているか	研修関連資料		○	
3	12	カリキュラムは自主学習を含む学習時間・学習方法を、学生の生活時間や学習時間に配慮して設計されているか	WEBシラバス、AIKENハ ンドブック		○	
3	13	講義に関し機構推奨のコアカリキュラムあるいはそれに準じたカリキュラムが実施されているか	カリキュラム表、WEBシラ バス、コアカリキュラム対 照表		○	
3	14	実習に関し、機構推奨コアカリキュラムあるいはそれに準じたカリキュラムが実施されているか	カリキュラム表、WEBシラ バス、コアカリキュラム対 照表		○	
3	15	講義・実習等の受講前に学生の能力等に不足がないかを確認するためのアンケートやヒアリングを行っているか	入学試験面接記録、個 人面談記録		○	
3	16	動物を使用する実習、実験等に関し、これらに関する倫理・動物の福祉について規則やマニュアルが整備され、公表されているか	動物取扱規定		○	
3	17	学生の成績情報等への閲覧権限が適切に設定されているか	文書管理規定・学生情報 システム(Nacs)権限設定		○	

コメント

教育活動の各項目については、明確なエビデンスがあり、全項目適合以上の評価となった。また、全学科において年に2回以上の教育課程編成委員会が開催され、学科別で現行のカリキュラムに関する意見交換をしている。専門分野に属する外部委員の意見を活用し、定期的にかリキュラムやシラバスの見直しも行っていると云える。各学科のカリキュラムは体系的に編成されているが、カリキュラムツリー(マップ)が動物看護科のみ作成されているので動物管理科、植物管理科での作成が望まれる。

4. <学修成果>		エビデンス (文書名又は文書番号)	優良	適合	要改
4	1	就職率の向上が図られているか		○	
4	2	資格取得率の向上が図られているか		○	
4	3	入学者に対する卒業率はどうか		○	
4	4	在校生の社会的な活動に対し、それを把握し評価する体制があるか		○	
4	5	学生の学修成果の評価に際して、育成する人材像に沿った評価項目を定め、明確な基準で実施されているか		○	
4	6	教育・訓練及び実習等を委託する場合、その目的、要望事項及びそれに対する評価項目等の依頼を明確にしているか		○	
4	7	総合臨床実習(インターンシップ)について、依頼先の獣医師等と十分なコミュニケーションをとり、その内容、評価法等を事前に決め、評価しているか		○	

コメント

学修成果の各項目については、明確なエビデンスがあり、全項目適合以上の評価となった。卒業生の就職率においても毎年90%以上を継続しており、適切な就職指導がなされていると云える。資格合格率は各学科での数値に多少の差はあるが、概ね70%以上の合格率を継続している。

5. <学生支援>		エビデンス (文書名又は文書番号)	優良	適合	要改
5	1	進路・就職に関する支援体制は整備され、それはきちんと学生や保護者に周知されているか		○	

5	2	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	健康診断記録、専任カウンセラー、健康促進チーム	◎		
5	3	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	奨学金制度案内、各種制度	◎		
5	4	学生相談に関する体制は整備されているか	コース担任制度、専任カウンセラー		○	
5	5	課外活動に対する支援体制は整備されているか	SAM活動	◎		
5	6	学生の生活環境への支援体制は整備されているか	提携寮紹介・ひとり暮らし応援制度		○	
5	7	保護者との連携は適切か	保護者セミナー、保護者発送文書		○	
5	8	卒業生への支援体制はあるか	再就職支援体制			△
5	9	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	教育訓練給付金制度		○	
5	10	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	高校連携事業内容		○	

コメント

学生支援の各項目については、5-8卒業生への支援体制に関して、生涯の就職サポート制度として卒業後の対応をしているが同窓会が設置されていないことなどを含め、明確なエビデンスが不足している為、要改善の指摘事項とした。学生の健康管理においては、特に精神面でのサポートとして専任のカウンセラーが設置され、校舎からは徒歩ですぐいける距離に別の建物で独立しているのも利用しやすく良い環境である。また、経済サポート面では日本学生支援機構の奨学金サポート体制だけでなく、学費の分割支払い制度や一人暮らし応援制度、在学中学費ゼロ制度など学校独自の経済支援システムが充実している。

6. <教育環境>			エビデンス (文書名又は文書番号)	優良	適合	要改
6	1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	施設・設備リスト、時間割表	◎		
6	2	防災に対する体制は整備されているか	災害マニュアル、備蓄品リスト	◎		
6	3	実習室には検査に必要な設備が備わっているか	器具・設備リスト	◎		
6	4	基本的な動物看護実習に用いる動物を使用できる実習室が備わっているか、また必要な数の動物が使用できるか	時間割表、PDリスト	◎		
6	5	自己学習に必要な図書室ないし図書スペース及びコンピュータが利用できる環境を設置しているか	校内配置図、AIKENハンドブック	◎		
6	6	学校施設・備品等が定期的に管理・点検されているか	備品リスト、管理点検関連資料		○	
6	7	実習室等の学校施設、設備の利用割り当て(スケジュール管理)が明確になっているか	時間割表、設備予約システム、スペースコントロールシート		○	
6	8	海外研修制度はあるか。またその際の学生への指示、教育は十分に実施しているか	海外研修募集案内資料、研修行程表	◎		

コメント

教育環境の各項目については、明確なエビデンスがあり、全項目適合以上の評価となった。本校舎に加え、おゆみ野ドッグサイト、長柄ドッグヒルズ、千葉ライディングパークなど豊富な実習施設を有しており、長柄ドッグヒルズと千葉ライディングパークへは送迎バスを運行しているなど交通サポートも万全である。また、実習に用いる犬、猫、小動物を学校で飼育しており、実習授業で用いる動物が十分に確保されている為、優良評価が多い結果となった。

7. <学生の受入れ募集>			エビデンス (文書名又は文書番号)	優良	適合	要改
7	1	学生募集活動は、適正に行われているか	入学案内書、募集要項、入学時間連ツール	◎		
7	2	学納金は妥当か	募集要項、決算報告書		○	
7	3	障がい等、特別な措置が必要な学生への対応を定め、共有しているか	学生情報システム(Nacs)		○	

コメント

学生の受入れ募集の各項目については、明確なエビデンスがあり、全項目適合以上の評価となった。入学希望者と保護者に対するの情報提供が充分になされ、適切な募集活動が行われていると言える。ホームページのインターフェースをリニューアルすることだが、入学希望者への情報提供に加え、情報公開関連のページがより見やすくなるように改善されることを期待する。

8. <財務>			エビデンス (文書名又は文書番号)	優良	適合	要改
8	1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	財務関連資料		○	
8	2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	予算関連資料		○	
8	3	財務について会計監査が適正に行われているか	会計監査関連資料		○	
8	4	財務情報の公開の体制整備はできているか	情報公開(HP)		○	

コメント

財務の各項目については、明確なエビデンスがあり、全項目適合以上の評価となった。財務関連の資料はHPの情報公開資料の内容として掲載されており、会計監査も適正に行われていると言える。

9. <教育の内部質保証システム(法令等の遵守)>			エビデンス (文書名又は文書番号)	優良	適合	要改
9	1	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	文書管理規定		○	
9	2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	個人情報保護規定		○	
9	3	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	内部監査計画書、内部監査報告書		○	
9	4	自己評価結果を公開しているか	情報公開(HP)		○	
9	5	教職員の職務記述書を作成し、これらを適切な間隔で見直しているか	人事考課表		○	
9	6	評価目標ならびに想定される評価範囲を整理し、記述できているか	人事考課表		○	
9	7	教職員に対する評価方法、評価スケジュール及び評価の考え方が書類として存在するか	人事考課表		○	

コメント

教育の内部質保証システムの各項目については、明確なエビデンスがあり、全項目適合以上の評価となった。自己点検・評価表はHPの情報公開資料の内容として掲載されている。文書管理規定はあるが、決済規定が文書化されていないので改善されることを期待する。

10. <社会貢献・地域貢献>			エビデンス (文書名又は文書番号)	優良	適合	要改
10	1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献、学生のボランティア活動を奨励や支援、地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	SAM活動、キッズハッピープロジェクト		○	

コメント

社会貢献・地域貢献については、重点方針にも記載されており、学生と職員とで募金やエコキャップ回収などのボランティア活動を行っている。また、小学生を対象に年2回お仕事体験会を無料開催しているとのことで、地域に多く貢献していると言える。

11. <国際交流(必要に応じて)>			エビデンス (文書名又は文書番号)	優良	適合	要改
11	1	留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行き、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	留学生用入学案内書、留学生コース	◎		
11	2	学修成果が国内外で評価される取組を行っているか	留学生用成績評価表			△

コメント

国際交流については、動物総合コースという留学生用のコースが2018年度より設置され、入学希望者を随時受け入れる体制が整っている。なお、動物総合コースはまだ卒業生としての実績がない為、11-2の項目に関しては卒業後の進路管理という意味でエビデンスが不足していることから現時点では要改善と評価した。

総評

動物看護科の職業実践専門課程申請が2018年2月末に文部科学省に認可されたことで、動物管理科・植物管理科(ともに2017年2月認可)とあわせて昼間部の全学科が認可された学校となり、専門分野の企業と連携して充実なカリキュラムを編成することが期待できる。また、植物管理科フラワーデザインコースは2018年1月に厚生労働省による教育訓練給付金制度の対象コースとして認可され、社会人のニーズに応える環境が整備された。動植物関連の実習、演習授業の環境は非常に整備されていて高度な授業展開が可能であると言える。危機管理面においても豊富な防犯システムを用い、災害マニュアルも確立されていてリスクマネジメントができています。総合して適切な学校運営がされている評価であるが、一部不足しているエビデンスや、より優良評価となる為に改善できる項目があるので今後の取り組みに期待したい。